



福岡医発第1887号（地）

平成26年10月10日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松田 峻一良

（公 印 省 略）

「がん医療ネットワークナビゲーター教育研修セミナー in Fukuoka」
について（周知依頼）

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、一般社団法人日本癌治療学会では、がん診療連携拠点病院のがん相談支援業務を補完することを目的として、新たに「がん医療ネットワークナビゲーター（以下：がんナビゲーター）認定制度が創設されております。

今般、全国に先駆けて本県において、がんナビゲーター養成のための標記教育研修セミナーが開催される旨、担当の九州大学大学より別添のとおり周知依頼が参りました。

つきましては、貴会におかれましても本制度にご了知いただくとともに、貴会会員へ標記教育研修セミナーを周知いただきますようお願い申し上げます。

記

「がん医療ネットワークナビゲーター教育研修セミナー in Fukuoka」

△と き：平成26年10月26日（日）13：00～16：00

△ところ：福岡国際会議場 中会議室（411+412）

△申込方法：別紙の申込書を記入のうえ、下記学会事務局宛FAXにて申込み

△問合せ先：一般社団法人日本癌治療学会 東京事務所（担当：花田）

TEL:03-5542-0546 FAX:03-5542-0547

e-mail:navi@jsco.or.jp

(公印省略)

平成 26 年 10 月 8 日

公益社団法人 福岡県医師会
会長 松 田 峻一良 殿

九州大学大学院消化器科・総合外科
教授 前 原 喜 彦

「がん医療ネットワークナビゲーター教育研修セミナー in Fukuoka」
の周知について（お願い）

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、一般社団法人日本癌治療学会が新たに創設いたしました「がん医療ネットワークナビゲーター制度」につきまして、がん医療ネットワークナビゲーターの養成を目的とした標記教育研修セミナーを全国に先駆けて下記の日程で本県において開催する運びとなりました。

「がん医療ネットワークナビゲーター」の詳細につきましては別紙に記載のとおりですが、貴会におかれましても本制度にご了知いただくとともに、標記教育研修セミナーについて貴会会員に広く周知くださいますようお願い申し上げます。

記

「がん医療ネットワークナビゲーター教育研修セミナー in Fukuoka」

日時：平成 26 年 10 月 26 日（日） 13：00

場所：福岡国際会議場 中会議室 411+412



JAPAN SOCIETY OF CLINICAL ONCOLOGY
www.jsco.or.jp
E-mail office@jsco.or.jp

Kyoto Office | c/o Kinki Invention Center, 14 Kawara-cho, Yoshida
Sakyo-ku, Kyoto 606-8305, Japan
Tel +81-75-751-7150 Fax +81-75-761-9724

Tokyo Office | Shinkawa Bldg. 2F, 2-13-10 Shinkawa, Chuo-ku, Tokyo
104-0033, Japan
Tel +81-3-5542-0546 Fax +81-3-5542-0547

がん医療のネットワークに参加されている皆様へ

平成 26 年 10 月吉日

謹啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本日は一般社団法人日本癌治療学会が新しく創設いたしました「がん医療ネットワーク・ナビゲーター」についてご紹介をいたします。日本癌治療学会は 50 年間の歴史を有し、1 万 8 千人をこえる会員が所属するわが国では最大の癌治療に関する臨床系の学会で、現在、患者さんの学会参加を通じた教育活動や臨床試験や研究に必要なデーターを収集するデーターマネージャーの認定など、学術集会の開催以外にもわが国のがん診療に役立つような幅広い活動を行ってきました。

わが国のがんの患者さんの大きな不満のひとつに、正しい情報に到達することが難しいという点が上げられます。インターネットや新聞・雑誌は標準治療とはかけ離れた治療の情報で満ち溢れております。このような状況の中、癌拠点病院におけるがんの相談支援センターの皆様は献身的な貢献をされていると思いますが、がん診療を正しく理解し、地域の正しい情報を提供できる人材はまだまだ不足していると考えております。

さらに今後、急速に進行する高齢化社会においては介護のみならずがん医療についても正しく理解した新たな人材が必要となるでしょう。

以上の背景から日本癌治療学会では「がん医療ネットワーク・ナビゲーター」という資格を北島政樹、門田守人、前原喜彦の歴代理事長の課題として議論を重ね、検討してまいりましたが、今回、認定を開始することとなりました。

「がん医療ネットワーク・ナビゲーター」はがんの患者さんに正しい情報を提供することを目的としています。申請には特別な資格の必要はなく、がん診療のネットワークの一員としてがん診療の勉強された方に幅広く取得していただけますように資格制度を設計いたしました。必要要件としては、別紙のような e-ラーニングによる講義の受講、セミナーの受講、がん拠点病院の相談支援センターにおける実習を行っていただいた後に審査を経て認定をいたします。その他に資格は必要ありません。福岡県では群馬県、熊本県とともに全国に先駆けて認定を開始することになっております。

つきましては平成 26 年 10 月 26 日（日）には福岡国際会議場で第一回目の教育研修セミナーを開催することとなりました。是非とも、本セミナーに多くの



JAPAN SOCIETY OF CLINICAL ONCOLOGY
www.jsco.or.jp
E-mail office@jsco.or.jp

Kyoto Office | c/o Kinki Invention Center, 14 Kawara-cho, Yoshida
Sakyo-ku, Kyoto 606-8305, Japan
Tel +81-75-751-7150 Fax +81-75-761-9724

Tokyo Office | Shinkawa Bldg. 2F, 2-13-10 Shinkawa, Chuo-ku, Tokyo
104-0033, Japan
Tel +81-3-5542-0546 Fax +81-3-5542-0547

皆様にご参加いただき、「がん医療ネットワーク・ナビゲーター」を御理解いただければ幸いです。同封の資料を参照いただきまして、参加される場合には大変ご面倒ではありますが、申込書にご記入の上、FAX をいただければ幸いです。

なお、さらに本件に関するお問い合わせがあります場合には下記までご連絡をいただければ幸いです。

一般社団法人日本癌治療学会 東京事務所 花田

TEL 03-5542-0546

FAX: 03-5542-0547

e-mail:navi@jsco.or.jp

あるいは

九州大学 消化器・総合外科 調 憲 (シラベ ケン)

e-mail: kshirabe@surg2.med.kyushu-u.ac.jp

末筆となりましたが、皆様の益々のご健勝を心より祈念いたしております。

謹 白

一般社団法人日本癌治療学会前理事長

九州大学消化器・総合外科

前原喜彦

一般社団法人日本癌治療学会理事長

西山正彦

がん医療ネットワークナビゲーター制度

日本のがん医療の発展と進歩を促進し、国民の福祉に貢献することを目的として、一般社団法人日本癌治療学会では、認定がん医療ネットワークナビゲーターの育成を開始することとなりました。

かねてより当学会では、だれもが安心、満足できる理想のがん医療の一層の充実を目指して鋭意努力と検討を重ねてきました。がん患者困窮の3大要因は、医療情報の不足、高額医療費の支払い、精神的な寄り添いの不足に集約されることが指摘されてきました。このため、がん医療情報の提供は、患者・家族に対するがん相談支援としてがん対策の大きな柱の一つに位置付けられています。二次医療圏をカバーするがん診療連携拠点病院では、がん相談支援センターの設置が義務付けられ、その相談員は専門的研修の受講を義務付けられるなど、拠点病院でのがん相談支援事業は充実しています。しかし人員が絶対的に寡少であるなどその活動の展開には脆弱性の悩みがあります。当学会では、拠点病院のがん相談支援業務を補完するようながん医療ネットワークナビゲーター（以下：がんナビゲーター）認定制度を検討しました。がんナビゲーターとは、がん情報の提供のみに特化した人材であり、医療実務には係わりません。すなわち、がんに関する正確な情報を的確、適切に患者・家族に伝え、患者・家族の疑問に答えて悩みを解決する手助けのできる在野のがん相談支援員と言えます。がんナビゲーターは必ずしも医療者資格を要せず、ピアサポーターや福祉・介護職などを含め、その地域のがん診療ネットワークに属している者が有資格者であり、当学会の所定の履修により資格が付与されます。

当学会では、関連する様々な組織・学会との連携と協同のもと、今秋から全国3地域（熊本・福岡・群馬）でモデル事業を開始します。なお、最終的な認定がんナビゲーターの人数は、がん治療認定医と同じ2万人を目標としています。

認定がんナビゲーター
プロフィール

Who might be?

薬剤師
看護師
ピアサポーター...

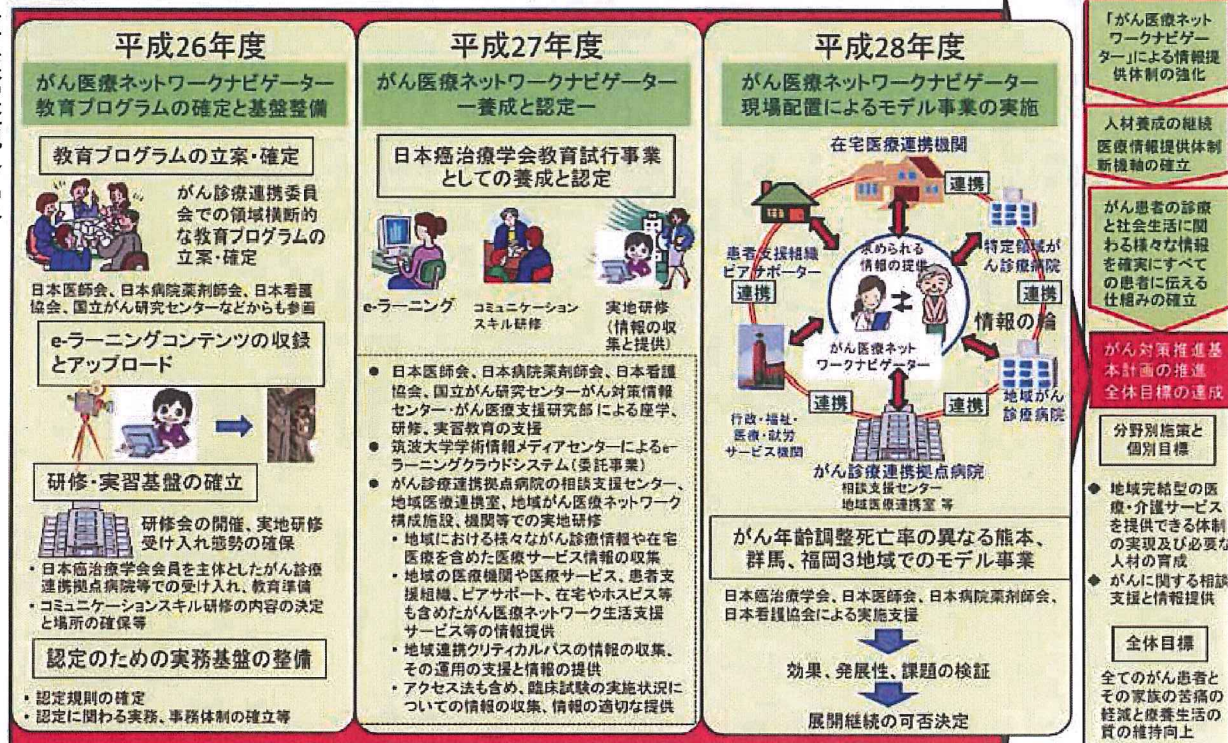
Where to meet?

主に病院の相談室

- 意義・目的
- すべてが未知の体験であるがんとの闘い
 - 高齢化、独居化の進むがん患者
 - 限定される情報収集手段
 - 玉石混交の膨大な情報
 - “知る”ことは医療と生活の選択基盤
 - 不十分ながん医療、医療サービス情報の提供体制
 - 低質、高額な負担を要する医療コーディネーターの乱立
 - がん診療提供体制の急速な変化

- 目的
- がん診療連携機能の強化
 - 地域ネットワークを機能させる効率的な情報提供体制の確立
 - 地域がん医療情報に精通した「がん医療ネットワークナビゲーター」の養成
 - 施設・機関を超えたがん医療ネットワークナビゲーターの地域ネットワーク内配置による情報提供の強化モデル事業の実施
 - 満足できるがん医療と社会生活を送るための具体的な情報をすべての患者に確実に伝える仕組みの構築

事業実施予定



2014年度

8月 第52回学術集会にて記者会見
9月 群馬にて教育研修セミナー①
10月 福岡にて教育研修セミナー②
11月
12月 熊本にて教育研修セミナー③
1月 「コミュニケーションスキル」実地研修要綱確定
2月 実地研修要綱確定
3月 研修施設指導責任者の確定

2015年度

4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
E-ラーニング受講
第53回学術集会にて①②
コミュニケーションスキルセミナー④
●福岡・熊本会場
●群馬会場

【2014 年開催教育セミナー】

●群馬 ● 日時：平成 26 年 9 月 13 日（土）14:00～16:00 場所：群馬大学医学部（昭和キャンパス）刀城会館

1. 「がん診療ナビゲーターの役割」 西山 正彦（群馬大学大学院病態腫瘍薬理学）
2. 「群馬県のがん対策推進事業」 山崎 浩通（群馬県健康福祉部 がん対策推進室 室長）
3. 「がん診療連携パスの運用と実態」 齋藤 繁（群馬大学大学院麻酔神経科学）
4. 「がん診療ナビゲーター認定基準と研修プログラム」 桑野 博行（群馬大学大学院医学系研究科病態総合外科学）
5. 「群馬研修モデルの特徴と研修申し込み手続きについて」 浅尾 高行（群馬大学大学院医学系研究科がん治療臨床開発学）
6. 「医師をサポートする専門スタッフの育成トレーニングの効果と実務」 川島 史子（日本医療コンシェルジュ研究所 特別顧問・シニアコンシェルジュ）

●福岡 ● 日時：平成 26 年 10 月 26 日（日）13:00～16:00 場所：福岡国際会議場

1. 「がん医療ネットワークナビゲーター制度とは」 西山 正彦（群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学）
2. 「ナビゲーターに必要な知識①（基礎編）：EBMと臨床試験」 調 憲（九州大学大学院消化器・総合外科学）
3. 「ナビゲーターに必要な知識②（基礎編）：患者リテラシーと情報収集法」
佐々木 治一郎（北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門）
4. 「ナビゲーターに必要な知識③（応用編）：がん相談支援の実践」 竹山 由子（九州がんセンター）
5. 「デモンストレーション」 北嶋 晴彦（大牟田市立病院）、織田 久美子（社会保険 田川病院）
6. 「パネルディスカッション」

●熊本 ● 日時：平成 26 年 12 月 7 日（日）9:00～12:00 場所：くまもと県民交流会館パレア

1. 「がん医療ネットワークナビゲーター制度とは」 片渕 秀隆（熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学分野）
2. 「EBMと臨床試験」 吉田 稔（日本赤十字社熊本赤十字病院腫瘍内科）
3. 「リテラシーとインターネット情報」 佐々木 治一郎（北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門）
4. 「がん相談支援において必要な知識とスキル」 稗田 君子（熊本大学医学部附属病院がん相談室）
5. 「デモンストレーション」 堀田 めぐみ（がんサロネットネットワーク熊本）、里山 弘子（熊本県私のカルテがん診療センター）

「がん医療ネットワークナビゲーター制度」とは？

【定義】

がん医療を受けるために必要な医療関連情報、生活支援情報等に関する適切な助言・提案・支援を行うに十分な知識と素養を習得した者である。ただし、医療介入に関してはこれを禁ずる。

【業務規定】

- (1) 地域におけるがん診療情報や医療サービス情報を収集する。
- (2) がん患者・家族等の求めに応じ、がん診療情報や医療サービス情報を適切に提供する。
- (3) 地域連携クリティカルパスの運用支援を行う。
- (4) 臨床試験・治験に関する情報を適切に提供する。
- (5) 医療介入またはこれに相当する可能性のある行為は行わない。

【申請資格】

申請時前 3 年の間に (1)～(4) をすべて満たしていること；

- (1) 指定された e-ラーニングシステムにおいて 30 科目を聴講し、すべての小テストを受験し合格し、修了証を取得していること。

- (2) ①、②、③のうちいずれか 1 つに参加し受講証を取得していること。

①A セッション：教育研修セミナー、B セッション：コミュニケーションスキルセミナー

②「がん相談支援センター相談員基礎研修」または「がん総合相談研修プログラムがんサロン編 “より良いグループ・サポートを進めるために” を用いて開催される研修会

③その他、日本癌治療学会が認めるセミナー、研修会など

- (3) 日本癌治療学会の定める研修施設において実施研修をし、指導責任者による証明がなされていること。

- (4) 申請時にかん医療に関わる地域医療ネットワークに参加している施設・組織に所属していること。

【費用】

e-ラーニング受講認定証発行 10,000 円

セミナー受講料 8,000 円～10,000 円

審査申請料 5,000 円

認定料 10,000 円

【運営・主催】

日本癌治療学会 がん診療連携委員会、認定ナビゲーター制度委員会

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人日本癌治療学会 東京事務所・花田 Tel：03-5542-0546 Fax：03-5542-0547 e-mail：navi@jsco.or.jp

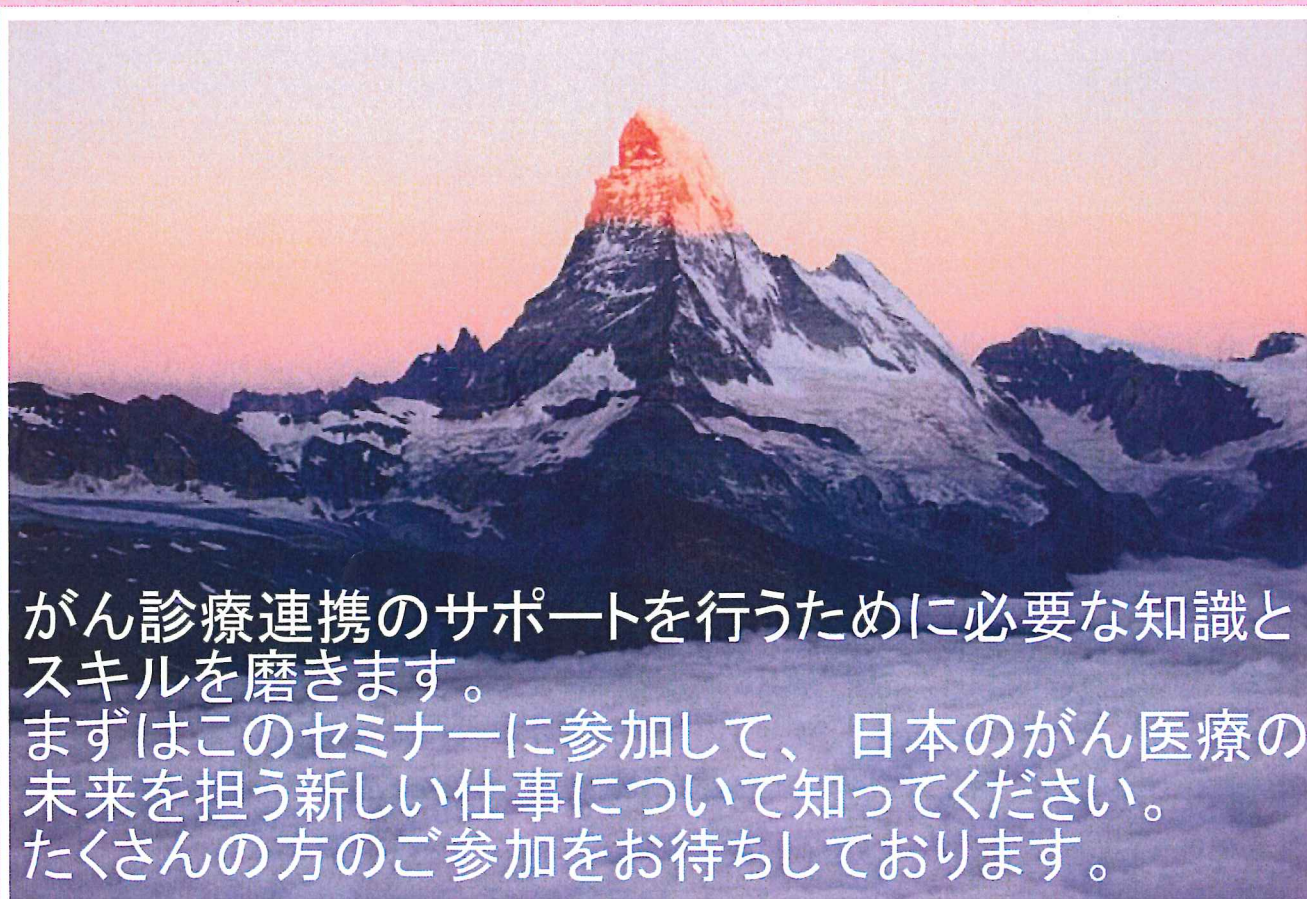


がん医療ネットワークナビゲーター 教育研修セミナー in Fukuoka

日時：平成 26 年 10 月 26 日（日）13:00 ～ 16:00

場所：福岡国際会議場 中会議室 411 + 412

〒812-0032 福岡市博多区石城町 2-1



がん診療連携のサポートを行うために必要な知識と
スキルを磨きます。
まずはこのセミナーに参加して、日本のがん医療の
未来を担う新しい仕事について知ってください。
たくさんの方のご参加をお待ちしております。

主催：一般社団法人 日本癌治療学会

【連絡先】一般社団法人 日本癌治療学会【担当】花田

【TEL】03-5542-0546【FAX】03-5542-0547【e-mail】navi@jsco.or.jp

がん医療ネットワークナビゲーター

がん医療を受けるために必要な情報に関する適切な助言・提案・支援を行うに十分な知識と素養を修得したかたを学会が認定します。

がん医療ネットワークナビゲーターの業務内容

- ① 地域におけるがん診療情報や医療サービス情報の収集
- ② がん診療情報や医療サービス情報の提供
- ③ 地域連携クリティカルパスの運用支援
- ④ 臨床試験・治験に関する情報の提供
- ⑤ 医療介入またはこれに相当する可能性のある行為は行わない

教育研修セミナー in 福岡

日 時：平成 26 年 10 月 26 日（日）13:00～16:00

場 所：福岡国際会議場

挨 拶 前原 喜彦（九州大学大学院消化器・総合外科学）

1. がん医療ネットワークナビゲーター制度とは
西山 正彦（群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学）
2. ナビゲーターに必要な知識①（基礎編）：EBMと臨床試験
調 憲（九州大学大学院消化器・総合外科学）
3. ナビゲーターに必要な知識②（基礎編）：患者リテラシーと情報収集法
佐々木 治一郎（北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門）
《休憩 10 分》
4. ナビゲーターに必要な知識③（応用編）：がん相談支援の実際
竹山 由子（九州がんセンターがん相談支援センター）
5. デモンストレーション
北嶋 晴彦（大牟田市立病院地域医療連携室）
織田 久美子（社会保険田川病院患者相談情報センターがん相談支援センター）
6. パネルディスカッション
7. 最後に

宛 先：一般社団法人日本癌治療学会

がん医療ネットワークナビゲーター 教育セミナー in FUKUOKA

FAX：03-5542-0547 又は e-mail: navi@jsco.or.jp

がん医療ネットワークナビゲーターA セッション（福岡）申込書

発信元

施設名 _____

代表者お名前 _____

連絡先 （電話番号） _____

連絡先 （E-mail） _____

申込み締切日 平成26年10月20日（月）

平成26年10月26日（日）13:00～16:00 に福岡国際会議場で開催されます
「がん医療ネットワークナビゲーターA セッション」に参加いたします。

参加者名① _____

参加者名② _____

参加者名③ _____

参加者名④ _____

参加者名⑤ _____

参加者名⑥ _____

がん医療ネットワークナビゲーターが新聞に取り上げられました。

がん相談:患者や家族支援 2年かけ育成…3県モデル事業

毎日新聞 2014年08月27日 21時00分

日本癌（がん）治療学会（西山正彦理事長）は27日、がん関連情報を提供したり、患者や家族の相談に応じたりする「がん医療ネットワークナビゲーター」の育成制度を創設すると発表した。2万人の認定を目指し、9月から群馬、福岡、熊本の3県でモデル事業に着手する。

モデル事業では、1年程度がんの基本的な知識を学んだ後、2年目に実地研修を実施。3年目に医療・福祉現場に配置する。対象として、看護師や薬剤師らの医療関係者、介護職、患者会にかかわる人を想定している。

2006年に成立したがん対策基本法に基づく計画では、患者や家族の相談支援、情報提供をがん対策の柱の一つと位置づけ、全国の拠点病院に相談支援センターが設置された。しかし、周知不足もあって、患者らの要望に十分応えられていないという。西山理事長は「モデル事業の効果を見極めて、全国に広げたい」と話す。

【下桐実雅子】

がん患者らに情報提供

日本癌治療学会（西山正彦理事長）は、がんの患者や家族に、医療情報や生活支援情報を提供する「医療ネットワークナビゲーター」制度を創設し、10月26日、福岡市の福岡国際会議場で、ナビゲーターの育成セミナーを行う。患者と医療機関をつなぐ役割が期待されており、医療関係者以外でも参加できる。

「ナビゲーター」育成 福岡で来月セミナー

状に合わせた医療機関の紹介も行う。医療行為は行わない。セミナーでは、西山理事長が制度の説明するほか、患者との模擬相談なども予定している。

日本人の死因のトップはがんで、2人に1人がかかる。患者の多くは、医療情報の不足、高額な医療費の支払いなどに悩んでおり、がん医療の拠点病院（全国で407病院）のがん支援相談支援センターが対応することになっているが、十分に機能しているとは言えない状況という。

制度やセミナーの問い合わせは、学会東京事務所（03・5542・0546）へ。

読売新聞 平成26年9月18日